



長崎市東古川通り

文化



食



まちぶらプロジェクト

町家



歴史



発見

～和と歴史のまちぶらり～

東古川通り



目次

中島川・寺町地区東古川通りの歴史	1
町の人が誇りに思う東古川通りの魅力	3
学生が見つけた東古川通りの魅力	4
東古川通りマップ	5
お店紹介ページ	
アート	INDIES ART CLUB and GALLERY 7
布	グリーンライフ めい屋 8
	MinaMo 9
	おんこどう 10
	Cotélac 11
	布あそび 12
	山茶花(さざんか) 13
食	コロッケ 14
	菜魚(なお) 15
	薬院 16
	美食空間 音(おん) 17
	からすみ茶屋まつくら 18
	絲屋(いとや) 19
	南蛮茶屋(なんぼんちゃや) 20
	長崎カフェ 一花五葉(いちかごよう) 21
	古田勝吉商店 22
	ミート&デリカ IWANAGA 23
	吉川鮮魚 24
	珈琲人町(コーヒーひとまち) 25
健康	天空門 26
編集後記	27
東古川通り周辺地図	



中島川・寺町地区 東古川通りの歴史

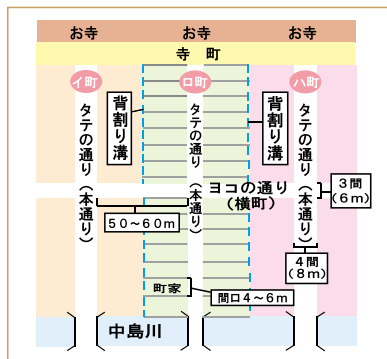
▲写真1 昭和30年頃の東古川通り（真木1997）

▲写真2 現在（2013）の東古川通り

長崎の歴史と人情が息づく「中島川・寺町地区」にある東古川町は、歴史を感じる温かい町です。この町には、多くの町家が残されていることや、職人町として栄えた頃のように、今でも商いをされている方がいらっしゃいます。車の通りも少ないためゆっくり通りを歩いて、「和」のたたずまいを感じることができます。

両側町と町割り、東古川町の誕生

長崎の町は、1663年の寛文の大火で2900戸が焼失し、幕府による復興によって新市街地が作られました。町並みは、一つの通りの両側に町家が並び、その両側の地域が一つの町を形成している両側町が特徴です。両側町の主な通りは中島川とほぼ直角に交わるタテの通りとそれらをつなぐヨコの通りで構成されています。タテの通りの間は50mから60mあり、これを背割りで2分し、タテの通りを挟んで向かい合った数十戸が一つの町を構成し（図①）、職業に由来する町名が多くつけられていました。この町割りは現在でもみられ、写真3は、しとしと川沿いから見える東古川町と古川町の町境である背割り溝です。各通りに付けられた町名の多くが当時から変わってしまいましたが、平成19年に東古川町と銀屋町の町名が復活しました。また、くんちの踊町など、コミュニティは現在にも受け継がれています（長崎市2013a）。平成23年に定められた景観法に基づく長崎市景観計画では、中島川・寺町地区は景観形成重点地区に指定され、あわせて、東古川通りについては歴史的なまちなみの保全・育成を目的に「東古川通り 景観まちすじ・まちかど」に指定されています（長崎市2013b）。



▲図① 両側町と町割り（長崎市2013a）



▲写真3 東古川通りの背割り溝

古川町天満宮

古川町天満宮の鳥居は、昭和 53 年に市指定有形文化財に指定されました。この鳥居は佐賀県を中心とする北部九州に分布している肥前鳥居の流れを汲むとされています（写真4）。鳥居の先端部分が反り返っているのが特徴です（写真5）。1641年に造立され、諏訪神社旧一の鳥居に次ぐ古いものです。1663年の寛文の大火にも耐えてきた遺構として大変貴重なものです（長崎市 2013c）。今日では、月一回住民の方が交代で清掃され、町のシンボルとして大切に守られています。



▲写真4 古川町天満宮



▲写真5 天満宮の鳥居

町家

中島川・寺町地区には、多くの町家が残されています。写真6は、東古川通りでも最も古い町家で、数年前まで一階部分が商売をされていました。長崎市では、中島川・寺町地区において町家の維持・保全及び復元、町家風外観形成に係る工事費の一部を助成しており、写真7は、その助成を活用して改修された建物です。



▲写真6 東古川通りの町家



▲写真7 東古川通りの改修後の3軒の建物

背割り溝としとき川

下水道が整備されるまでは、それぞれの家から出された汚水は、この背割り溝を通して排水されました。背割り溝から通じるしとき川には、明治時代に流行した伝染病対策として三角溝が用いられました（写真8）。汚水が土に浸透しないように石を隙間なく敷き詰め、また、三角に取りつけることで流れやすくなっています。



▲写真8 しとき川と三角溝

参考文献

長崎市（2013a）「中島川・寺町おさんぼマップ」

長崎市（2013b）長崎市景観計画<<http://www.city.nagasaki.lg.jp/sumai/660000/667000/p004203.html>>

長崎市（2013c）古川町天満宮の鳥居<<http://www.city.nagasaki.lg.jp/shimin/190001/192001/p000699.html>>

真木 満（1997年）写真集「長崎おもいで散歩」-昭和30年代の街角- 有限会社 春光社

町の人が誇りに思う東古川通りの魅力



東古川親和会
会長 水野さん

静かで穏やかな雰囲気

東古川通りの魅力は、時間が止まったかのように、昔ながらの町家が残っていることです。他の通りが開発されていく中で、東古川通りは昔ながらの町並みを保っています。東古川通りから中島川を渡る橋がないため交通量は比較的少なく、このおかげで昔ながらの町家が多く残っているように思います。

長崎といえばくんちが有名で、その時期になるとこの通りでも庭見せを行います。現在町家が少なくなり、一カ所だけで庭見せを行うところが多いですが、東古川通りでは数軒の町家で庭見せを行っています。町の中で、このようにたくさんの町家が残っているのは、大変珍しいと思います。ぜひ、東古川通りに訪れて、町家の雰囲気や静かな雰囲気を感じていただきたいと思います。

歩く人をほっとさせる通り

私の感じる東古川通りの魅力は、賑やかな繁華街とは異なり、歩く人をほっとさせるような静かで落ちついた雰囲気を持っていることです。これは昔から変わらず残され、守られてきた町並みが生み出しているものだと思います。通りには新しいお店もでき、昔と変わらない町家の雰囲気を感じながらも、新しい刺激も受けています。

また、観光の際にはぜひ通りにある古川町天満宮を訪れてみてください。月に1回通りの住民で協力して天満宮を清掃していますし、お大師様の清掃や扉を開けることは私の毎朝の日課です。天満宮の鳥居は、長崎では諏訪神社の鳥居の次に古いものです。町家だけではなく、鳥居の中に入り、昔ながらの落ち着いた雰囲気を感じてください。



東古川親和会
副会長 増永さん

東古川通りの住民の方々の声

最近では、多くの人から東古川町について興味を持っていただけるようになりました。人・町・歴史からなる一つの輪を大切にみんなが協力しています。静かでゆったりとした雰囲気の中にも、面白さや活気のある町です(65歳主婦)。

私は、ここにお店を出す前に県外を回り日本の素晴らしい町並みを見てきました。東古川通りでは長い歴史のある町家を残そうという取り組みが行われています。歴史の深い建造物や町並みを、長く残していくために、このような取り組みを続けることが重要であると思います。そして、東古川通りを大切に思う方々が増えていくことを願っています。これからも町民みんなで協力していきたいと思っています(70歳店主)。

学生が見つけた東古川通りの魅力

歴史

東古川通りには、たくさんの歴史があります。歴史的建造物である町家をはじめ、通りそのものの歴史、古くからある天満宮、お店の味などが大切に守り続けられています。



▲歴史を感じる町家



▲明治からあるラムネ



▲古川町天満宮



▲静かな落ち着いた通り



▲懐かしさを感じるお店



▲モダンなステンドグラス

雰囲気

東古川通りは、新鮮でモダンな雰囲気の中にも、どこか懐かしさを感じることが出来ます。通い慣れた人も初めて訪れた人も心が落ち着き、穏やかな気持ちにさせてくれる雰囲気が漂っています。



▲住民が一つになったおくんち



▲住民と学生との話し合い

ひとつと

東古川通りには、住民同士の交流や結びつきがあります。通りをよりよいものにしていこうという熱い思いを持った方々がたくさんいらっしゃいます。お店に入ると温かい人柄の店主、情熱を持って商いをする店主、おもしろいお話をしてくれる店主が迎えてくれます。

▲中島川

▲常盤橋

▲袋橋 ▲眼鏡橋

天空門

——まちかどトイレ

絲屋

南蛮茶屋

長崎カフェ 一花五葉

グリーンライフ めい屋

MinaMo

古田勝吉商店

INDIES ART CLUB and GALLERY

ミート&デリカ IWANAGA

おんこどう

▲中通り商店街

吉川鮮魚

*

東古川通り マップ

*

*…町家の助成を活用した建物

*

山茶花

Cotélaç

コロツケ

菜魚

古川町天満宮

薬院

布あそび

美食空間 音・からすみ茶屋まつくら

珈琲人町

寺町方面 ↓

▼ししとき川

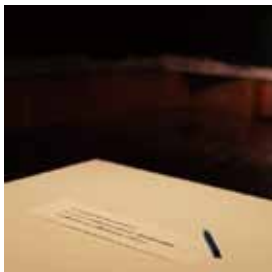
INDIES ART CLUB and GALLERY



パブリックなアートの

町家カフェ

アート



▲取材時開催されていた個展の様子

東 古川通りは、人と人とのかかわりが強い所です。通りを歩くときは、あいさつを大事にしています。この通りは気を抜いて歩ける、素の自分でいられる場所です（店主より）。



築

130年の町家独特の趣の中に現代的な雰囲気を取り入れたお店です。一階はカフェとギャラリー、二階は絵画教室になっています。カフェではカレーやオムライス、パスタのお食事、ケーキやフロートのカフェメニュー、お酒も楽しむことができます。ギャラリーでは、絵画・写真など様々なジャンルの展覧会を行っています。今までギャラリーというものに足を運んだことがない人も、ゆっくりカフェでくつろぎながら、パブリック（大衆）アートに触れてみてはいかがでしょうか？



▲店主の内瀬さん

INDIES ART CLUB and GALLERY

住所：長崎市東古川町 2-6 電話：095-823-5217

営業時間：PM0:00-PM11:00 店休日：金曜日

取材者より：店内は、どこか懐かしい町家の雰囲気と、モダンな空間が共存しています。店主自ら町家を改修されたと同じ、細部へのこだわりを感じました。

グリーンライフ ぬい屋

洋服の補正・寸法直しのお店です。洋服のウエスト調整、丈の調整、スカートのスリット作り外し、ズボンのファスナー取り替え、古い型のズボンを今風にサイズ調整する…など、洋服がお客様びつたり生まれ変わります。

着られなくなっても捨てられない、思い出の洋服や着物のリメイクも行っています。お客様のご注文を断ることはありません。どんなものでも一度お持ちください。約一週間でお仕上げいたします。



▲着物から作られたシャツと帯から作られたベスト



▲ぬい屋オーナーの杉原さん

東 古川通りは昔の町並みの残る、人情のある町だと思います。様々な種類のお店がありますが、新しくできたお店には必ずお邪魔しています。

町の守り神であるお大師様のお掃除を、通りのみんなで協力して行っています（店主より）。

グリーンライフ ぬい屋

住所：長崎市諏訪町 5-15 電話：095-825-1712

営業時間：AM10:00-PM6:30 店休日：日曜日

取材者より：非常に温かく、穏やかな雰囲気のお店ですが、お客様の要望に応えようという熱い思いも感じました。思い出の着物からワンピースやセットアップなどの洋服を作られているのには驚きました。



迅速・丁寧
あなたの想いに
応えるお店

布

MinaMo

優しい灯りが包むお店

こだわりの一品



▲店内に並ぶ素敵な洋服

東 古川通りの好きなところは、季節ごとに行われるお祭りに関われることです。通りを覗くと、様々な色合いの提灯や、お祭りの練習をする人々など、四季を楽しむことが出来ます。また、通りには古くから住まれている方が多く様々なお話が聞けて楽しいです(店長より)。



洋 服から雑貨まで、店内には店長が国内、海外からセレクトしたこだわりの商品が並んでいます。“洋服は日常的に洗えて、ストレスのないもの”ということを重視して選ばれた商品には、店長の優しさが感じられます。また、洋服だけではなく、カラフルな球体のキャンドルやアクセサリ、キャンバスとして自分でデザインを描けるバックなど、お洒落な商品がたくさんあります。



▲ネックレスやキャンドル

MinaMo

住所：長崎市東古川町 2-9 電話：095-823-5663

営業時間：AM11:00-PM7:00 店休日：火曜日

取材者より：赤レンガに包まれた外観と、店内のゆったりとした雰囲気には訪れる人をほっとさせるような温かさがあります。友人の誕生日のプレゼントやお部屋のインテリア探しに、ぜひ足を運んでみてください。



アンティーク・リサイクル・KIMONO

おんこどう

着 物・和雑貨・和装小物などの販売や宝石・着物・骨董品・貴金属などの買取りを行っているお店です。店内には若者向けの鮮やかな色合いの着物やシックで落ち着いた雰囲気のもの、帯や人形など様々なものを取り扱っています。また、着物の切れ端(残り布)を使って作ったバックなど「和」の楽しさや奥深さを現代に取り入れた商品もあります。「和」の魅力を様々な角度から伝えています。



▲様々な帯を取り扱っています

おんこどう

住所：長崎市東古川町 2-1 電話：095-823-5773

営業時間：AM11:00-PM6:30 店休日：月曜日

取材者より：「あなたが言うなら間違いない」これは取材中に帯選びの相談に来たお客様が店主に向けてかけた言葉です。そんな信頼できる店主は気さくで話しやすく日本文化を愛する素敵なお方でした。



▲店の入り口には素敵な着物と人形がお出迎え

結 婚式の装いの相談や、娘さんの着物選びなど幅広い世代の方から利用されています。「この着物にはどんな帯が似合う?」、「予算が心配…」そういった不安に店主は、親身に相談のってくれます。お客様の声を大切に、一人ひとりに合った提案をしてくれます。



日本文化

「和」の魅力を伝えるお店

布

Cotélac

自分の個性をみつけよう

ワンランク上のお洒落

布



▲おすすめコーディネート

季節ごとに商品のフェアが開催されています。季節にあった商品を着て、お洒落を楽しめますので、ぜひ足を運んでみてください。



フランス発のデザインである洋服をはじめ、シューズ、ベルト、カバンなど、センスのいい商品が店内に並んでいます。シンプルな商品もありますが、フランスらしい個性的な商品もたくさんあります。

コンセプトは「自由で、肩の力を抜いて、冒険心をうちに秘めて…」。



▲ラム皮のスニーカー



▲カラフルなタイツやソックス

Cotélac

住所：長崎市東古川町 3-24 電話：095-826-2333

営業時間：AM10:00-PM7:00

取材者より：大人な雰囲気の中にちょっと遊び心があります。自分の好みにあったものを探してみたいかですか。

URL: http://crj-jf.com/shop/cotelac_nagasaki/



布あそび

四季を感じる商品が店内を埋め尽くしています。夏には金魚や蝉、秋にはお月見の時期に備え、ウサギやお月見団子を作っています。布で表現された日本の四季を、肌でも目でも楽しむことができます。



▲柳のストラップと物入れケース



▲手ぬぐいやポストカードも豊富

ハンドメイドの商品だけではなく、店主自らがセレクトした手ぬぐいやポストカードも豊富です。ポストカードは、県外の方が長崎をイメージして作られました。このカードを大切な人に送ってみたいのは、いかがですか。

布 あそび

住所：長崎市東古川町 3-12 電話：095-820-7353
営業時間：AM11:00-PM6:00 店休日：日曜日、月曜日

取材者より：昔から伝わる製法を使って、現代の人に親しみやすいように、店主がアレンジした小物は、どれもレトロモダンな雰囲気を漂わせていました。店主が更新するHPには、商品のことから長崎の行事に関する記事まで掲載されています。

URL：<http://blog.goo.ne.jp/tirimenasobi-nakasima>



時代を超えた
ハンドメイドの温もり

布



コロッケ

東 古川通りで38年続いている名店です。「ただいま」と言いたくなる、どこか温かい雰囲気が広がっています。ドレッシングやソースは手作りにこだわり、変わらぬ味を守り続けています。平日でも開店前から行列ができ、開店と同時に満席になる日がほとんどです。男性も大満足すること間違いなしのボリュームたっぷりの「コンビチーズハンバーグ」がおすすめです。



▲レトロな雑貨がいっぱいの店内



▲店主の岩永さん

昔 ながらの町並みが残り、雰囲気がとてもいい通りですので、もっと若者であふれるようになってもいいと思います（店主より）。

コ ロッケ

住所：長崎市東古川町 3-23 電話：095-826-1220

営業時間：PM0:00-PM9:00 店休日：火曜日

取材者より：自慢のコロッケにはこだわりがあり、長い間変わらず長崎の人に愛される人気の理由がわかりました。平日の15時～18時が比較的空いているそうです。



38年間変わらない味
長崎市民に愛され続けるお店

魚菜

こだわりの詰まった

落ち着いた空間

食



▲カウンターの奥に並ぶお酒

お店に来るお客様の多くは常連さんですが、初めての方もぜひ足を運んでみてください。店主はとても明るく話上手です。内装もきれいで、お店に使われている机は一枚板ばかりです。すべてに店主のこだわりがぎっしりと詰まったお店で料理やお酒を楽しめます。



新 鮮な旬の魚を楽しめるお店です。旬の魚は刺身や煮付けにして提供しています。店内には、カウンター席から個室まであり、家族や仲間で料理を楽しむことができます。



▲こだわりの一枚板のテーブル

魚菜

住所：長崎市東古川町 3-22 電話：095-829-1850

営業時間：PM6:00-PM9:00

取材者より：個室もあるので、落ち着いた料理を楽しみたいお客様にぴったりのお店です。



薬院

天 ぶらの専門店です。全席カウンターのみで、店主が温かく迎えてくれるので、一人でも気軽に入店しやすいお店です。

店主が福岡県で食べた天ぶらのスタイルに動かされ、12年前に始めました。オリジナルの天ぶら粉を使い、一人で毎朝1時間以上かけて仕込み作業を行っています。



▲揚げたての天ぶら



▲一緒に塩辛・漬物も提供、福岡流

東 古川通りには昔ながらの町家が多く残っています。このお店もその一つで、明治時代に建てられ、150年の歴史が続いています。



一品一品あげたてのおもてなし

薬院

住所：長崎市東古川町 3-19

営業時間：AM11:30-PM2:00 店休日：月曜日、第3日曜日

取材者より：入店しただけで、食欲をそそる香りが広がります。なかなか長崎には少ない天ぶら専門店に、一度は足を運んでみてはいかがでしょうか。

食



美食空間 音

こだわりを追求した美食空間



▲大人気の「色々な野菜がたっぷり入った和風サラダ」

野 菜の他にも新鮮な魚や長崎で育った島原産の豚肉を使用しています。厳選した食材を用いて提供される料理と一緒にお酒も楽しむことができるお店です。特に、日本酒やワインを美味しく味わうことのできるメニューがたくさん揃っています。



お 店でお出される多くの野菜は、店主の実家がある南串山町（南高来郡）で無農薬・有機農法で自家栽培されたものです。また、日本ではあまり使われない珍しいイタリア野菜なども種を輸入して地元・長崎で作り、料理を提供しています。そんな旬の野菜を使った「色々な野菜がたっぷり入った和風サラダ」は人気の定番メニューです。



▲オシャレな雰囲気の内店

美 食空間 音

住所：長崎市東古川町 3-11 YSビル 1階

電話：095-822-5656

営業時間：PM6:00-PM12:00 (L.O 11:00)

店休日：木曜日

取材者より：店内は一見カフェのようですが、和食ベースのさまざまな料理がありました。

食



からすみ茶屋 まつくら

明 治 19 年に開業し、3 代目が生んだ生からすみは、コクのある旨みと香りが口に広がります。そんな歴史ある味を気軽に堪能できます。生からすみを使ったどんぶりやパスタを温かい家庭的な雰囲気の中で味わうことができます。



▲農林水産大臣賞を受賞した「生からすみ」

東 古川通りには静けさがあります。にぎやかな浜の町を少し外れただけで、通りは、落ち着いた町並みに変わります。地域とのつながりを大切に、趣味で作る置物を東古川通りのお店に出品することもあります（店主より）。



▲平和への祈りを込めて作った木の置物

か らすみ茶屋 まつくら

住所：長崎市東古川町 3-11-201 電話：095-827-1023

営業時間：AM11:30-PM3:30 店休日：日曜日、月曜日

松 庫商店

住所：長崎市桜馬場 2-4-15 電話：095-825-6020

営業時間：AM10:00-PM6:00 店休日：日曜日



元祖・生からすみ
歴史ある味を気軽に提供

食

絲屋

楽しめる大人の隠れ家

美味しい料理とお酒を



▲お刺身の盛り合わせ

昔ながらの町家造りの雰囲気が残る落ち着いた店内です。和のたたずまいが残る東古川通りに合うような雰囲気のお店を作りたいという思いで8年前にはじめました。料理とお酒をゆっくり堪能できます。宴会、記念日、接待など、大切な方との食事にかがですか。二階の個室は予約制ですのお早めにどうぞ。



地元の素材を中心に素材の味を大切にし、季節感のある料理を出しています。使用する食材、料理を乗せる器などにこだわり、日本酒も珍しいものを取り揃えています。一品一品、まごころを込めてお作りします。



▲二階のお座敷

絲屋

住所：長崎市東古川町 1-1

電話：095-822-2671

取材者より：外からは店内の様子が見えず、つい通り過ぎてしまいそうになりますが、店内へ足を踏み入るとまるで京都の町に来たかのような気分になりました。かつて、町家が立ち並んでいた東古川通りの雰囲気を感ずることのできるお店です。

南蛮茶屋

1981年創業以来、「長崎らしい喫茶店」を理念とし、立地からお店の内装、おもてなしの仕方までこだわっています。長崎を訪れる人、コーヒーを愛する人の誰もがリラックスできる贅沢な時間を提供してくれます。きらびやかな繁華街から離れたこの閑静な東古川通りで、長崎ならではの雰囲気味わえます。また長崎に来たいな、そう思われるような喫茶店です。



▲アンティークを基調とした内装



▲時代を感じさせるコーヒーメーカー

おすすめ商品はありません。なぜならお客さんの好み、その時の気分、ニーズに徹底的に応じるのがこの南蛮茶屋流だからです。

お客様の年齢層や、出身地(県内外、国内外)は様々ですので、その時、その人にあった最高の一杯を注いでくれます。

南蛮茶屋

住所：長崎市東古川町 1-1 電話：095-823-9084

営業時間：PM1:00-PM11:00

取材者より：古き良き物を大切に、お客様が至福のひと時を長崎で過ごすことを願う店主の強い思いが感じられました。忙しく過ぎ去る日々の中、心を安らかにさせてくれます。



人のひと時を大切に
する喫茶店

食

長崎カフェ 一花五葉

和と洋の融合

長崎らしさに溢れるお店

食



▲カステラパフェとエスプレッソ

店内には、長崎カフェという名前の通り、長崎にゆかりのあるものがたくさんあります。中でも、入り口にある石畳風の床とカウンター席のあじさいをモチーフにしたスタンドグラスは長崎らしさを演出し、お店に華を添えています。特に、夕暮れ時のスタンドグラスはロマンティックで大変きれいです。



以前長崎カフェ豆ちゃんがあった場所を引き継いでオープンした新しいお店です。自慢のコーヒーは長崎カフェ豆ちゃんのオーナーが使用していた豆と同じものを使っています。他にも野菜がたっぷり入ったスープのランチメニューや和の雰囲気漂う抹茶、女性にうれしいスイーツもあります。長崎らしさを感じながら午後のゆったりとしたひと時をお過ごしください。



▲抹茶を立てるための茶釜

長崎カフェ 一花五葉

住所：長崎市東古川町 1-5 電話：095-824-8815

営業時間：AM11:30-PM7:00 店休日：月曜日、第3日曜日

Twitter、Facebook 「長崎カフェ 一花五葉」

取材者より：オーナーのこだわりが店内随所に散りばめられています。ぜひ一度立ち寄ってゆっくり楽しんでください。



古田勝吉商店

昔

ながらのラムネの販売業者です。明治10年、旧大村町（現万才町）に開業しました。初代・古田勝次は居留地の医師から清涼飲料水の製造を伝授され、日本人でラムネの製造を創めた人の一人だと言われています。明治後半、現在の地に移転し、二代目勝吉のときに有限会社となりました。現在は、飲食店などの他に、諏訪神社の月見茶屋やグラバー園などの観光地にも置いているそうです。



▲明治時代、大村町にあった店舗

写

真の左が明治時代に販売されていたラムネ瓶、写真の右が現在も販売されているラムネ瓶です。明治時代の瓶は手作りであったため、いびつな形をしています。ラムネ瓶には、「御手引き」という文字とマークが記されています。これは、戦時中に世界の人が皆ラムネを飲んで平和になってほしいという世界平和の祈りを込めて、万国旗とともに手引き（握手）の絵が描かれたものだそうです。



▲左：明治時代のラムネ瓶
右：現在のラムネ瓶

古

田勝吉商店

住所：長崎市東古川町 1-7 電話：095-822-0665

営業時間：AM8:00-PM8:00

取材者より：町の活性化に積極的に協力されています。お話を聞く中で昔ながらの町家の多く残る東古川通りを守っていききたいという思いが伝わってきました。



世界平和への祈りを込めて
明治時代から伝わるラムネ

食

ミート&デリカ IWANAGA

町の胃袋を満たす

みんなの元気の源



▲お店に入ると目に入るモチーフ

お店の看板商品は、手作りコロッケです。ミート、カレー、クリームが3種類があります。お昼と夕方に揚げたてが並びます。お子さんやお父さんのお弁当にピッタリな商品です。

たくさんのお肉と手作りのお惣菜が充実しています。ひとつひとつ手作りです。ぜひ家庭の味のする美味しいお肉をご賞味ください（店主より）。



▲看板商品のコロッケ



ミート&デリカ IWANAGA

住所：長崎市東古川町 1-10 電話：095-823-2350

営業時間：AM9:00-PM7:00 店休日：日曜日

取材者より：本格的なお肉やお弁当の一品など、様々な商品が揃っています。店主は長くこの町に住んでいらっしゃる、町の歴史についてのお話を聞けます。



吉川鮮魚

鮮度にこだわりをもつ魚屋さんです。一般客のみならず、高級料理店にも魚を出しています。戦後、現在のメルカ築町に店を構えていましたが、東古川通りの雰囲気にかかれ、2年前にこちらに移ったそうです。お店の建物は町家の多い東古川通りの雰囲気に合わせています。店主は、町家などの昔ながらの町並み残る落ち着いた雰囲気が好きだと話してくださいました。



▲店内奥にある水槽

活きた鮮魚をそのままに
究極の鮮魚を誇るお店



▲クジラのベーコン

おすすめ商品は、お店で扱っているお魚全てです。中でも人気なのは、キビナやアラです。吉川鮮魚では、通信販売も行い、トラフグ、珍味といわれる自家製からすみ、クジラのベーコンなどをお届けしています。左の写真のクジラのベーコンは塩味のシャキシャキとした歯応えで、たまらなく美味しい逸品です。店頭や通信販売で自慢の美味しい魚をぜひご賞味ください（店主より）。

吉川鮮魚

住所：長崎市東古川町 4-6 電話：095-822-6661

営業時間：AM8:00-PM5:00

取材者より：鮮度にこだわりをもち、お客様に注文されたものは、必ず揃えるように心がけているそうです。お客様の声を大切にしようとする気持ちがとてもよく伝わりました。



珈琲人町

観光客にも愛されるお店

地元の人にも



▲店内にはコーヒーの良い香りが漂っている

人町ブレンドの中煎りがお店の看板商品となっています。夏の時期は水出しコーヒーをおすすめしています。地方発送もっており、遠方のお客様や、贈り物にしたいお客様のために宅配便でお届けいたします（店主より）。



▲人町ブレンド(中煎り)



珈琲人町

住所：長崎市東古川町 4-25-1F 電話：090-7291-0467

営業時間：AM11:00-PM8:00

店休日：月曜日、第1第3日曜日

取材者より：珈琲人町は、とてもおしゃれな雰囲気、隠れ家を見つけたような気分になりました。一番印象的だったのは、お店から漂うコーヒーの香ばしい香りです。

天空門

台 湾式足ツボ・整体マッサージのお店です。足ツボは、痛いところで体の悪いところわかります。足裏を刺激することにより、胃腸や肝臓の働きを良くし、肩こりや腰痛を和らげます。その他にも便秘改善や不眠の方にも効果があります。なかなか足ツボには縁がないと思われる方が多いと思いますが、来院される人は幅広い世代です。特に若い人が多く、女性に人気があります。



▲室内の様子



▲足つぼマッサージ

足 ツボをすれば話のネタにもなります。またこの台湾式足ツボを通して台湾にも興味をもってほしいです。台湾は食べ物がおいしく日本人にやさしい国です（店主より）。

ハマる快感
心身共にリフレッシュ

天 空門

住所：長崎市東古川町 2-14 蔵ビル 201 号室 電話：095-827-8744

営業時間：AM10:00-PM7:00（完全予約制）休診日：木曜日

取材者より：足ツボマッサージを実際に体験させていただきました。初めてだったのですが、痛い場所で自分の体の悪いところ分かり、痛さの中にもだんだん気持ち良さが出てきます。自分の身体を見直すのにとっても良い機会です。



健康

編集後記

この冊子は長崎県立大学国際情報学部情報メディア学科の学生が取材・編集を行いました。

町の方々と学生が協同して一つのものに向き合うことで、町の良い所、歴史、人の温かさを再発見でき、通りをより深く知っていただける冊子になりました。
4年 廣田

知れば知るほど魅力的な通りです。人、店、歴史、その一つ一つをもっと多くの人に知っていただきたいという思いで、この冊子を作りました。
4年 末永

「町は生きている」これは取材を行うなかで印象的だった言葉です。昔からの面影を残す町家、そして訪れるたびに表情を変える通りは魅力的です。
4年 鶴崎

今まであまり足を運んだことがなかった場所の歴史やその町に住む人々の熱い思いを知ることができ、とても良い経験ができたと思います。
4年 前田

人の繋がりや町の歴史が大切に守られているのは、この町が好きだと言う町の皆さんの熱い思いがあるからと今回の取材で感じました。
3年 小川

取材を通して新たな東古川通りの魅力を知ることが出来ました。長崎にはこんなすばらしい通りがあることをぜひ多くの人に知っていただきたいです。
3年 中尾

町の人々の温かさに触れ、今まで気付かなかった通りの魅力を発見できたことで、町の魅力を多くの人に知ってほしいという気持ちになりました。
3年 永尾

観光客の方はもちろん、地元の人でも知らなかった様々なお店や人の温かさを知り、長崎の魅力を再発見することが出来ました。
3年 松尾

少しでも多くの人にこの冊子を手にとっていただき、私を感じた「古き良き時代の日本」を同じように多くの人々に実感していただきたいと思います。
3年 山口

人の温かさと歴史、そしてどこか懐かしさを感じる素敵な通りだと思います。ぜひ皆さんにこの冊子を通して東古川通りの魅力を知っていただきたいです。
2年 溝上

この冊子を読んで、多くの人に東古川通りを訪れてもらいたいと思います。そして、町家など昔ながらの雰囲気も感じていただきたいです。
2年 江頭

この通りには懐かしさとモダンな刺激が織りなす独特の雰囲気があり、まさに長崎らしい通りだと思います。また足を運びたいです。
2年 連尾

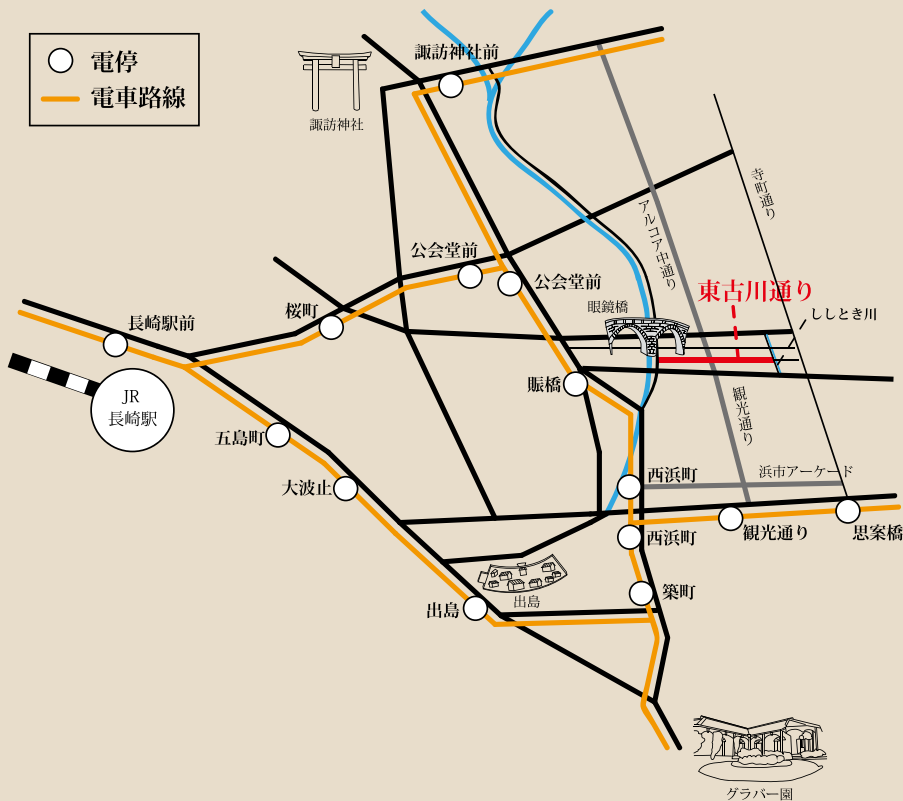
今回の冊子作りに関わるまで東古川町の町家についてはほとんど知りませんでした。これから長崎の古き良き建造物をさらに大切に守っていきたいと思います。
2年 田中

歴史ある町家が残る東古川通りを見て、新しい長崎の魅力を発見しました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
2年 清

University of Nagasaki



東古川通り周辺地図



～和と歴史のまちぶらり～

東古川通り

平成 25 年 11 月 25 日 印刷

平成 25 年 12 月 1 日 発行

編集 長崎県立大学国際情報学部情報メディア学科 学生

発行 長崎県立大学国際情報学部情報メディア学科 庄山研究室

西彼杵郡長与町まなび野 1 丁目 1-1 TEL (095)813-5500

長崎市建設局 まちなか事業推進室

長崎市桜町 2-22 TEL (095)829-1178

印刷 (株)藤木博英社 長崎市万屋町 5-13 TEL (095)821-2146